

ひらた里山の会の活動

東部中学校「地域を知る総合学習」をアシスト

9月1日、2日に東部中学校1年生75名の総合学習をアシストしました。1日目は山楯竹林の間伐作業、2日目は悠々の杜の遊歩道に木製チップ敷き作業を体験しました。生徒は会員から適宜指導を受け、懸命に作業していました。

作業後の学習会は講師に飛島・鳥海山ジオパーク推進協議会の長船裕紀さん、地域おこし協力隊の内藤小容子さんから里山における地域資源の活用、自然環境や生態系の変化について話していただきました。



▲作業終了後、遊歩道前広場で記念撮影



▲竹林作業の事業説明



▲チップ敷きは効率よく運搬

南小 自然アドベンチャークラブ活動サポート

9月30日、南平田小学校の児童11名が飛鳥沼での生き物捕獲と解剖に挑戦しました。当会の理事、地域おこし協力隊の内藤さん、ジオパーク推進協議会の長船さん、東北公益文科大の五枚橋さんらの指導の下、オキアミで餌を作り網かごを沼に仕掛けてから、ウシガエルの解剖を行いました(写真1)。初めは気持ち悪がっていた児童は徐々に興味を示し、じっくり観察していました。



▲写真1

会員の努力に秋の森の感謝祭

芋煮、新米おにぎりに新酒のサプライズ

10月15日、みはらし台で秋の森の感謝祭を開催し、天気に恵まれ大いに盛り上がりしました。35名の参加者は池田暁さんが南麓畑で育てた里芋の芋煮や、新米つや姫でおにぎり、竹で靴ベラ工作や悠々の杜散策など企画別のグループに分かれて交流しました。昼食の準備が出来た頃合いで酒田酒造代表の佐藤正一さんから新酒の提供があり、芋煮と合わせておいしくいただきました。



▲竹の靴ベラを念入りに磨く



▲色々なイベントの後に芋煮会

錦秋の経ヶ蔵山トレッキング

やまがた百名山 修験行者の山を楽しむ

11月5日(土)朝8時、30名の参加者がアイアイひらたでの開会式で佐藤(達)理事の挨拶と登山計画の説明を受け、バスに乗り経ヶ蔵円能寺口へ向かいました。

前日まで雨でしたが、参加者は景色や高山植物の話をして登山道を進み、頂上と須弥壇岩まで到達しました。雲で鳥海山は隠れていましたが、崖下の紅葉を堪能しました。ゆっくり休憩してからの下山は足取り軽く、登山口に到着した時には達成感で溢れていました。



▲山頂で記念の一枚



▲全員無事下山

里山の杉葉で杉玉飾り

今年は5箇所設置

11月、新酒を知らせる杉玉は佐藤(幸)副代表、佐藤(与)理事、飛鳥土曜会、芯金は(株)メカニック、笠は門脇建具が担当しました。



▲笠付で立派に納品

完成した杉玉は【酒田】楯の川酒造、酒田酒造、旬味井筒、庄内エコポリス、【尾花沢、銀山温泉】八木橋商店に納品されました。

落ち葉堆肥作りは実践SDGs

地域資源を有効活用する取り組みとして、11月8日は南平田小全校児童で校庭、10日は平田総合支所職員と東部中1年生でわたなべ道と校庭、18日は南平田小3年生で飛鳥グランドゴルフ場の落ち葉を集めました。

地域住民が前もって袋詰めあり、約180袋集まりました。

回収した落ち葉は当会の定例ボランティア活動で、堆肥箱にケヤキとそれ以外の葉に分け、来年の腐葉土づくりの準備をしました。



▲南平田小校庭



▲東部中前、わたなべ道



▲飛鳥グランドゴルフ場

竹あかり、竹細工教室

11月26日と12月24日に傳兵衛会館酒田店を会場に竹あかり教室を開催しました。

会館の今野さんと伊藤さんが指導し、当会の高橋(貞)理事が参加者のサポートを担当しました。参加者は電動工具に初めは戸惑いながらも次第に楽しく作業し、仕上げて焼き色を付けて深緑色の竹灯りを時間内で完成しました。



▲出来たての竹灯りを撮影



▲それぞれの作品と一緒に